



SAWARABI
GROUP

共同生活援助事業
明日香ホーム

Tel 0532-69-5666 Fax 0532-69-5787

E-mail combin@awarabi.or.jp

住所 〒440-0051 愛知県豊橋市東雲町159-2

交通のご案内

電車利用：豊橋駅前より豊橋鉄道東田本線(路面電車)
競輪場前下車 徒歩5分



医療法人・社会福祉法人

さわらび会

www.sawarabigroup.jp

SAWARABI
GROUP

共同生活援助事業

明日香ホーム



みんなの力で、みんなの幸せを

創設者である山本孝之が脳卒中のリハビリ病院として山本病院を開業したのが1962年。以来、認知症のケアにとどまらず、リハビリ病院と授産所を中心に、高齢者、身体障がい者、知的障がい者のための施設を同じ敷地の中につくり、みなさんが自立を目指してリハビリや訓練を受けるとともに、お互いに助け合って暮らしてきたのが福祉村を中心とするさわらび会です。認知症への取り組み、医療と介護の連携、さらには子どもからお年寄り、健常者と障がい者の共生。ここにはそれが、ずっと昔からすべて揃っています。

「みんなの力で、みんなの幸せを」という理念に込められた、幸せとは自立して自由に生き、まわりの人に役立つ働きができる時に感じるものという想い。その想いを胸に、認知症をはじめとして医療や介護のさらなる研究を進めることはもちろん、さわらび会の存在や理念を世界中の人々にも広げ、すべての人がいつも笑顔で幸せに生きていける社会をつくるために、これからも全力をつくしていきます。

さわらびグループ CEO/DEO 山本左近

認知症介護の三原則

- 一.いつも暖かい愛情と笑顔で。
- 一.決して叱らず、制止せず。
- 一.今、できることをしていただく



共同生活援助事業

明日香ホーム

地域と方と共に、安全に
楽しく暮らせる快適空間

専門職員のアドバイス

利便性に優れた立地

夜勤も緊急対応が可能



施設の特徴

障がいを持った方が、地域で自立した生活を世話人等の支援を受けながら一般企業や、障がい者福祉サービス事業所に通いながら規則正しい生活を送っています。自らの意志で働くことで収入を得て健常者と同じように余暇活動を楽しんだり、経験を積んで、一人暮らしを希望する方には自立に向けた支援を行っていきます。

定員 40名(共同生活援助事業 居住区6)

月額 ¥72,000
*家賃、光熱水費、食材料費、日用品費を含みます

サービス内容

夜間支援体制

住居の拠点毎に、夜勤対応職員を配置し緊急時の対応を取れるようにしています。住居地が4地区に分かれているため主な事業所からの緊急時支援に不安を感じていましたので2017年夏より配置しました。警備会社の防犯システムも利用し防犯カメラも設置して強化に努めています。

就労支援

定員40名のうち18名が一般就労しており、定期的に就労先を訪問し就労状況等を聞くとともに、ホームでの生活状況を報告することにより利用者の近況をお互いが知る機会を持ち、すぐに連絡を取り合える環境を作りすることにより就労の継続をしていただけるよう調整しています。

